

中期計画実施状況 の検証

第二期(令和7年度)



公益財団法人

群馬県スポーツ協会

Gunma Sports Association

点検項目(1)スポーツの普及・啓発

取り組み

人材の育成及び資質向上を目的とする研修会・講習会を開催するとともに、地域・職域等のニーズに応じた指導者を派遣しスポーツの指導を行うことで、県民の健康に対する意識の高揚と健康保持増進を進めていきます。

数値目標

指導者バンク登録者数

計画策定時 (R4実績)

110名

現時点での 最新の値 (達成率)

90名
(74%)

目標値 R11

登録者数
10%増

今後の展望

- 登録者の減少を抑えるため、登録更新基準等の見直しを行う。
- 指導者の資質向上を図るため、JSPO指導資格の更新研修を引続き義務研修に充て、より質の高い研修会への参加を促す。
- 各種関連イベント等で、PRチラシを作成し、健康スポーツ指導者の認知度を上げ、登録者増を目指す。

点検項目(2)スポーツの機会の提供

取り組み

少子高齢化や社会の急激な変化に伴い、県民のスポーツに対するニーズも高度化・多様化しています。年齢や体力に応じたスポーツを提供していきます。

数値目標

巡回スポーツ指導人数

計画策定時 (R4実績)

153,850名

現時点での 最新の値 (達成率)

66,335名
(43%)

目標値 R11

155,000名以上

今後の展望

- 登録者増により、多様なニーズに答えられる育成及び派遣できる体制を構築する。
- 引き続き、市町村や関係団体に巡回指導事業を周知し、協会HPやSNS等でも、広報活動を行う。
- 指導依頼の多い種目をテーマにした研修会・講習会を実施し、指導者の育成を図る。

点検項目(3) 青少年の健全育成

取り組み

スポーツ少年団を中心に、青少年の健全育成に取り組みます。

少子化によるスポーツ人口の減少が進む中、支えるスポーツとして、地域・学校・スポーツ少年団・地域クラブ等や、群馬県教育委員会と連携し子供たちが継続してスポーツに親しむ機会を提供・確保します。

数値目標

スポーツ少年団団員数
わくわく運動プロジェクト参加者数

計画策定時 (R4実績)

15,141名
1,318名

現時点での 最新の値 (達成率)

14,887名(96%)
1,944名(129%)

目標値 R11

15,500名以上
1,500名以上

今後の展望

- 子供たちにとって望ましいスポーツ環境を維持し続けるため、総合型地域スポーツクラブとの連携体制の構築を図る。
- 不適切行為の防止や活動中における事故予防・防止等、子供たちにとって安心・安全なスポーツ環境を整備する。
- 県・市町村・競技団体等と連携・協力し、スポーツの魅力や楽しさを発信・PRする機会を提供する。

点検項目(4)ライフステージに応じたスポーツの参加促進

取り組み

市町村のニーズを踏まえながら子供から高齢者まで対応した、スポーツ体験事業を進めます。
スポーツ教室・公開講座等を提供し、スポーツの楽しさを体験するとともに、健康促進を進めます。

数値目標

チャレンジスポーツ教室参加数

計画策定時 (R4実績)

1,081名

現時点での 最新の値 (達成率)

1,346名
(90%)

目標値 R11

1,500名以上

今後の展望

- 多くの団体でチャレンジスポーツ教室事業が実施できるよう自主財源の獲得・確保する。
- より多くの人々にスポーツに興味・関心を持ってもらえるよう有益で適切な情報の発信、広報活動を展開する。
- スポレクフェス等のイベント開催により、関係団体との連携強化を図り、幅広い世代が様々なスポーツをできる環境を提供する。

点検項目(5)スポーツを通じた県民幸福度向上 スポーツ医科学的支援の充実 スポーツライフの支援

取り組み

市町村・競技団体・中体連・高体連・支援企業等と連携を図りながら、体力測定を実施し群馬県全体の体力向上を推進します。

数値目標

メディカルチェック・体力測定数

計画策定時 (R4実績)

211名

現時点での 最新の値 (達成率)

241名
(60%)

目標値 R11

400名以上

今後の展望

- 医科学的支援の充実をおこなうため、アナリストの拡充により精度の高いフィードバックを行う。
- 競技団体や企業、市町村などへ体力測定の意義、効果の啓発を行う。
- 湯けむり国スポに向けて医科学支援体制を再構築し、メディカルチェックとフィットネスチェックを分離し、安全確保と競技力向上を両立させる。
- 競技団体の相談窓口(ワンストップセンター)の設置

点検項目(6)スポーツ医科学を核とした一貫強化体制の強化 指導者養成と専門家を活用した支援

取り組み

スポーツ医科学を活用した、新たなステージの枠組み、「ぐんまモデル」の取り組み・構築を進めます。

数値目標	計画策定時 (R4実績)	現時点での 最新の値 (達成率)	目標値 R11
JSPO公認指導者数	5,503名	5,481名(76.6%)	公認指導者数 30%増
JSPOアスレティックトレーナー数	38名	50名(101%)	
JSPO栄養士数	7名	9名(99%)	

今後の展望

- 指導者研修会やスポーツ指導者セミナーの質の向上を行い、人数並びにさらなる質の高い指導者育成を行う。
- 養成講習会の募集要件の見直しを行い、応募の裾野を広げ県公認ATやスポーツ栄養士のさらなる活用を行う。
- ジュニア育成事業へスポーツアナリストを派遣し、スポーツ医科学を核とした一貫指導体制の定着を支援する。
- 県内支援リソースの可視化を図り、競技団体が利用しやすい環境整備を目指す。

点検項目(7)第83回国民スポーツ大会の成功 天皇杯総合優勝

取り組み

群馬県で開催される国民スポーツ大会に向け、「オール群馬チーム」構築に取り組めます。
また、トップアスリートや指導者の活躍が県民にスポーツの素晴らしさを伝え、群馬県の誇りを持たせます。

数値目標

2029年群馬県開催
国スポへの準備・競技力向上

計画策定時 R5

26位
(特別国体天皇杯)

現時点での 最新の値

35位
(第79回)

目標値 R11

2029年第83回
国民スポーツ大会
総合優勝
天皇杯1位皇后杯1位

今後の展望

- 群馬県スポーツ競技力向上対策推進本部との連携による競技力向上を図る。
- アナリストを活用しデータや科学的根拠に基づいた積極的な選手強化をサポートする。
- 第83回国スポに向けたターゲット世代に対しての選手強化及び支援を行う。

点検項目(8) 県有スポーツ施設の指定管理受託 安心安全な施設運営 県民サービスの向上

取り組み

総合スポーツセンター管理運営にあたり多様なニーズに応え、安全衛生的な管理運営に取り組めます。

数値目標	計画策定時 (R7実績)	現時点での 最新の値 (達成率)	目標値 R11
利用者数(総合スポーツセンター)	573,399人	573,399人(95%)	600,000人以上
利用者数(伊香保リンク)	87,284人	86,488人(96%)	90,000人以上

今後の展望

- ・安心安全な施設運営と県民サービスの向上に努め、イベント等の誘致に努力していく。
※令和7年1月26日～29日第79回冬季伊香保国スポ2025開催(伊香保リンク)
※令和7年度より、予約システム変更に伴う利用者数調べの変更

点検項目(9)スポーツ団体のガバナンス向上

取り組み

群馬県スポーツ協会加盟団体において、安定した財務基盤・組織体制のガバナンス強化(スポーツインテグリティ)、ガバナンスコードの遵守状況の公表など、当協会を含め各競技団体等の組織体制の充実を図るため、スポーツ協会及び加盟団体における組織体制向上の支援に取り組めます。

数値目標

ガバナンスコードの遵守状況の公表数
組織役員構成女性比率

計画策定時 (R4実績)

なし
23%

現時点での 最新の値 (達成率)

集計中
21%(70%)

目標値 R11

加盟団体100%
女性比率30%

今後の展望

各種会議、委員会等で、団体向け各種コンプライアンス研修(会計、スポハラ、アンチ・ドーピング、ガバナンス等)を継続していく。

各加盟団体にガバナンスコード遵守状況の公表状況を確認中。

改選時に女性理事の目標割合の見直しを継続していく。

点検項目(10)暴力・暴言・ハラスメント等の根絶

取り組み

群馬県スポーツ協会暴力等相談窓口により、スポーツ活動における不適切な行為を受けた時や見かけた時の相談先としての役割を果たすことに取り組めます。

数値目標

相談窓口認知度

計画策定時
(R4実績)

未設置

現時点での
最新の値

設置済み

目標値
R11

スポーツ関係者
相談窓口認知度80%

今後の展望

「暴力相談等窓口」に報告のあった事案を明確化し、「日時・内容・競技名・通報者・該当者・対応・処分等」などを記録し、倫理・コンプライアンス委員会、理事会にてその対応の報告をおこなうことで認知度を上げていく。

数値目標	計画策定時 (R4)	現時点での最新の値 (達成率)	目標値 (R11)
指導者バンク登録者数	110名	90名 (74%)	登録者数 10%
巡回スポーツ指導人数	153,850名	66,335名 (43%)	155,000名以上
スポーツ少年団団員数 わくわく運動プロジェクト参加者数	15,141名 1,318名	14,887名(96%) 1,944名(100%)	15,500名以上 1,500名以上
チャレンジスポーツ教室参加数	1,081名	1,346名 (90%)	1,500名以上
メディカルチェック・体力測定数	211名	241名 (60%)	400名以上
JSPO公認指導者数 JSPOアスレティックトレーナー数 JSPO栄養士数	5,503名 38名 7名	5,481名(77%) 50名(101%) 9名(99%)	公認指導者数 30%
2029年群馬県開催 国スポへの準備・競技力向上	26位 (特別国体天皇杯)	35位 (第79回)	2029年第83回国スポ 総合優勝 天皇杯1位・皇后杯1位
利用者数(総合スポーツセンター) 利用者数(伊香保リンク)	769,971人 38,409人	573,399人(95%) 86,488人(96%)	600,000人以上 90,000人以上
ガバナンスコードの遵守状況の公表数 組織役員構成女性比率	なし 23%	集計中 21%(70%)	加盟団体100% 女性比率30%
相談窓口認知度	未設置	設置済み	スポーツ関係者 相談窓口認知度80%